

V戦士

徳島県バレーボール協会中学校専門部
徳島県ヤングクラブバレーボール連盟 U14
秋季40号

平成25年度 第43回全日本中学校バレーボール選手権大会に参加して

藍住中学校 バレーボール部顧問 塩田直也

「このメンバーで全中へ！」新チームが始動するときに掲げた大きな目標である。現三年生の多くは、小学校の頃から県内上位の実績を上げ、全国大会出場も決まっていた。しかし、東日本大震災の影響で全国大会に出られないという無念を抱えて中学校に入学してきた。このような経緯もあり、監督として必ず果たしてやりたかった目標であった。

全国大会への出場が決まる大事な四国大会の前日、私は選手全員を集めてある一枚の紙を手渡した。それは、先にも書いた、新チーム結成時に書かせた目標の紙であった。ほとんどの紙には「全中出場」の文字が書いてあり、改めてそれを見た瞬間、選手たちの顔つきが変わるのが手に取るように分かった。その前向きな気持ちのまま四国大会では準優勝し、夢の舞台全中への切符を手にすることができた。

私は選手として4度、スタッフとして2度、全国大会を経験したことがある。しかし、今回は自分が一年間指導してきた一チームの出場ということで、全く違った感覚であった。予選グループ戦の第一試合を前に、会場全体を包み込む緊張感や一体感を肌で感じ、思わず身震いすると同時に目が潤ってしまった。

個人的には7度目の挑戦にして、やっと全国大会で初勝利を収めることができた。この夢の舞台に立ち、さらに勝利することができたのは、選手たちのひたむきな努力はもちろんのこと、保護者、地域の方々、徳島県下の多くの中学校の先生方の応援があったからこそだと思う。そういった方々への感謝の気持ちを忘れずに進み続けることで、大きな壁を乗り越えられたことは間違いない。

本当に言葉だけでは言い表せない貴重な経験をさせてくれた選手たちには感謝の気持ちでいっぱいである。誰もがができることではない今回の経験を生かし、今後も徳島県のバレーボール競技発展のために全力を尽くしていこうと思う。

この一年の間にはチームがうまくいかない時期もあり、大会を初戦敗退するという地獄も味わった。し

かし、この敗戦をバネに選手全員が初心に戻って、忘れかけていた一つの目標に向かってまとまっていた。県選手権大会で優勝の栄冠をつかんだときは、“心のバレー”を最高の形で表現することができて本当に嬉しかった。

「Where there's a will, there's a way. (意志あるところに道あり)」

全国ヤングバレー大会に参加して

加茂名中学校 二年 笹田 愛美

私は、初めて全国大会に出場しました。県外の初めて見るチームと試合をしたり、普段とは違うチームの選手と「徳島中央クラブ」として同じコートに立ち試合をすることができ、とてもいい経験をさせてもらいました。

私は、今回の大会で、自分に自信が持てたこと、また、精神的な面ではプレッシャーに弱いこと、自分には、何の力もないことがいろんな部分で思い知らされました。でも、そんな精神的な面を乗り越えていくことで、今後のバレーに対する取り組みが大きく飛躍できると思いました。

「徳島中央クラブ」のみんなと出会えることができ、みんなと同じコートに立って、みんなと一丸となって試合に臨めたことがとても幸せだと感じています。

保護者の方々、「徳島中央クラブ」のみんな、それに先生方。「本当にありがとうございました。」



津田中学校3年 滝 晃一

9月21日～22日の2日間全国大会がありました。

厳しい練習も沢山できて全国大会出場が決まってからは高校生との練習試合も多くなりました。

全国大会の結果は準優勝でした。

決勝戦で負けてしまいましたが試合中の声出しやプレーには悔いを残していません。でも一つ心残りがあるとすればいままでバレーボールを教えてくれた監督に最優秀監督賞を受け取ってもらうことが出来なかったことです。

この悔しい思いと全国大会での経験を生かして高校でもバレーを頑張りたいです。

阿南中学校3年 中野 裕士
ヤングバレーボールU14の大会に出場できて思ったことは、やっぱり全国大会になると会場も大きくてどこのチームもすごく強かったってことです。しかし、みんなでがんばってきつい練習をしてきて準優勝できました。結果は、惜しかったけど僕もがんばって声を出しました。みんなのおかげで、ここまでくることができました。みんな ありがとう。



鳴門市第一中学校2年 小原 陸玖
僕は、初めて全国大会という大きな舞台に参加させていただきました。最初は、ネットの高さに戸惑いました。そして僕自身、大会前に足をけがしてしまい不安でいっぱいでした。大会当日は、先輩達の迫力あるアタックやどこまでもボールを追ってつなげるプレーに感動し、僕も大きな声で応援しました。結果は、準優勝という素晴らしい成績を残すことができました。僕も試合出て、いい経験をさせていただきました。僕の中学校の部活には、男子バレー部がありません。でも、この大会で一緒に戦った優しくて頼もしい先輩達、監督やコーチ、保護者の方、家族に感謝して、大好きなバレーボールをこれからも続けていきます。ありがとうございました。

阿南中学校1年 今川 詩那
僕は、全国大会を一度も経験したことがありませんでした。今回、全国大会であるヤング大会に参加することによって様々な経験することができました。実際コートに入ってプレーすることはなかったけど、全国大会の雰囲気味わうことができたり、他のチームの選手のプレーを見たりして、えるものがたくさんありました。次は、自分がコートに立てるように頑張りたいです。

